

EA121BG(スプレーガン) 取扱い説明書



株式会社 エスコ

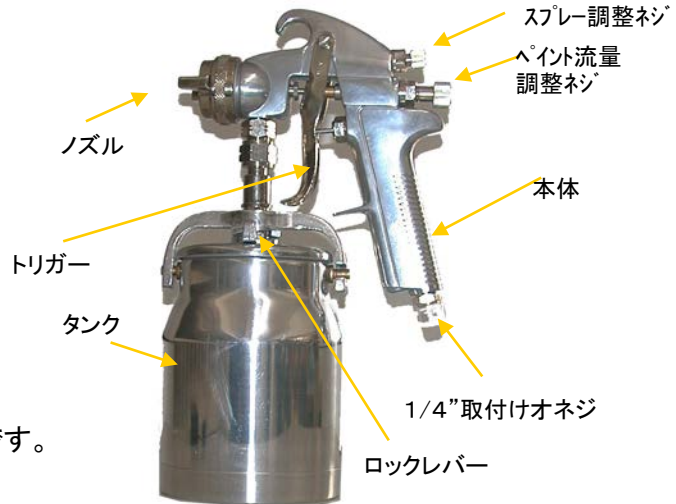
本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3丁目8番14号
TEL(06)6532-6226 FAX(06)6541-0929

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品を安全にご使用頂くためにも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

● 仕様

- ・重量 1270g
- ・エア消費量 200～400L/min
- ・使用圧力 0.35MPa
(2～5kg/cm²)
- ・ノズル径 φ1.8mm
- ・カップ容量 1000cc
- ・取付けネジ 1/4"オネジ
- ・使用コンプレッサー 1.2kw
- ・全高 290mm 長さ 175mm
- ・タンクサイズ φ105 X 150mm

ロックレバーでタンクの脱着が簡単です。



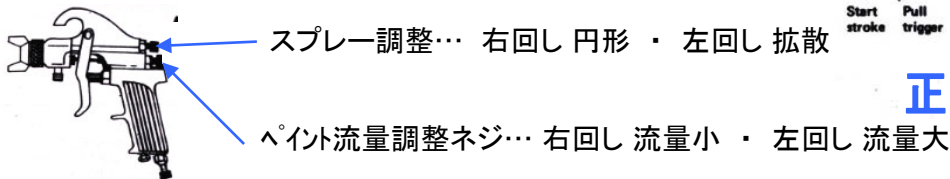
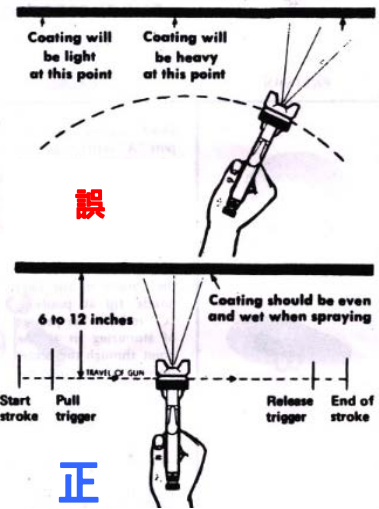
● エア コンプレッサー、配管内のゴミや水分を除去するため、フィルターなどを取り付けてください。ゴミが内部に入ると故障の原因になり、水分が入るとサビの原因になります。

● スプレーガンの操作方法

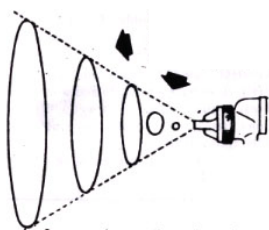
仕上げを良好なものにするためには、スプレーガンの正しい操作方法を知る必要があります。まず、スプレーガンを吹き付ける方面に対して、垂直かまえます。そして吹き付けるときは平行に動かしてください。

ストロークの仕方はトリガーを引く前からストロークを開始してください。逆にストロークが終わる前にトリガーを離すのがコツです。

ガンと対象物との距離は、状況によりますが約15cmから30cmほどがよいと思われます。塗りたての対象物はいつも滑らかで湿った状態です。前に塗ったストロークに塗り重ねますとむらのない仕上げが得られます。(塗りすぎを防ぐためには、空気圧は低めのほうがよいと思われます。)

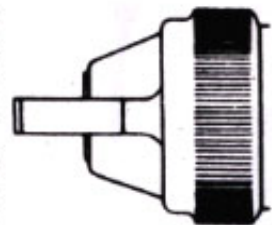


スプレー調整を増やして行くと、塗り面積を増やしてカバーするのと同じ量のペイントが必要になります。



・スプレーのパターンは、円形から平面まで、いろいろなパターンを作り出せます。

・通常操作は右図のようにウイングを水平にしてください。
パターンは垂直に拡散し、滑らかでむらのない、仕上げをします。
仕上げる面に対して、前後、平行にガンを動かしてください。



● サイフンスプレーの方法

ラッカーを塗るときは空気圧は0.35MPaにしてください。エナメルを塗るときは空気圧0.42MPaに設定してテストスプレーしてください。スプレーが細かいときは空気圧を減らすか、流量調整ネジを開いてください。スプレーが荒いときは、流量調整ネジを絞ってください。必要あればパターンの微調整を繰り返してください。






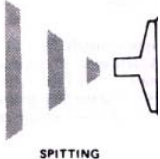
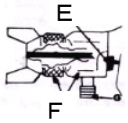
● プレッシャースプレーの方法

適正なオリフィス(穴)の選択後、希望する流量の圧力を設定しテストスプレーしてください。スプレーが細かいときは空気圧を減らしてください。スプレーが荒いときは、空気圧を上げてください。パターンの微調整を繰り返してください。

(流量調整ネジを全開の位置にしておけば、内部部品である、ニードルの摩耗を抑えます。)

塗りすぎを防ぐためには、空気圧は低めのほうがよいと思われます。

● パターン失敗例と直し方

| 失敗パターン | 症状 | 直し方 |
|---|---|---|
|  | サイドポートAを乾いたペンキがふさぎ、空気の流れを制限してしまっています。本流がサイドポートBの、流れだけになりますのでパターンが偏ります。  | シンナーでサイドポートに固まったペンキを溶かしてください。絶対に穴を金属の針などで突かないでください。 |
|  | ノズルチップにある、“C”の穴の回りに乾いたペンキが付着し、エアーノズルの穴をふさぎ、圧力空気の流れを悪くしています。また、エアーノズルの緩みによっても発生します。  | エアーノズルをはずして、チップをシンナーを少し浸した布で拭いてください。 |
|  | スプリットスプレー、或は中央が途切れてしまう塗装パターンについて (1) 空気圧が高すぎる (2) 薄い塗料で広すぎる面積に吹き付けようとした。 | (1)の場合、空気圧を減らしてください。 (2)ペンキの流れ込む量を増やしてスプレー調整ネジを右に回してください。塗装面は小さくなりますがスプリットパターンはなくなります。 |
|  | (1) ニードルバルブの回りにペンキなどが固着し、空気が流体バルブの方に流れ込んでします。 (2) ノズルと本体のシート部分が汚れている。或は、ノズルの締めまりがゆるい。 (3) サイフォンカップのスイベルナットの締めまりがゆるい。 |  (1) Eのナットをバックアップします。取り外しオイルをさして、手で締め直してください。ひどい場合は取り替えます。 (2) ノズルFをはずし、シンナーにひたした布できれいに清掃してください。 (3) スイベルナットをしっかりと締めてください。 |

● メンテナンス

1. タンクのサイフォン部分と、ガンの接続部分だけ、溶剤にひたしてください。
2. 固着したペイントは固めのナイロンブラシ等と溶剤で落としてください。
3. 本体を溶剤に漬け込まないでください。
 - a. パッキンのオイル分が融けてなくなりパッキンが乾くから
 - b. 本体表面のコートが融けてなくなり、本体の劣化が速くなる。
 - c. 汚れた溶剤で空気穴がふさがってしまう。
4. 溶剤に浸した布でガン本体の汚れを拭き取ってください。
5. ガンに注油してください。(下記部分)
 - a. ニードルパッキン部分
 - b. エアーバルブパッキン部分
 - c. トリガーピヴォット
 流量コントロールスプリングにワセリンを塗布してください。
6. シリコンの詰まった箇所には注油しないでください。この箇所への注油は仕上げの支障になります。

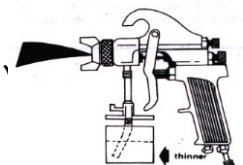
スプレーガンの各パーツは、初期は手締めされています。これはネジ山つぶれを避けるためですので、手締めで組立がうまく行かないときは、もう一度部品を確認して組み立て直して見てください。

● エアーノズル、流体ノズル、ニードル組立部分について

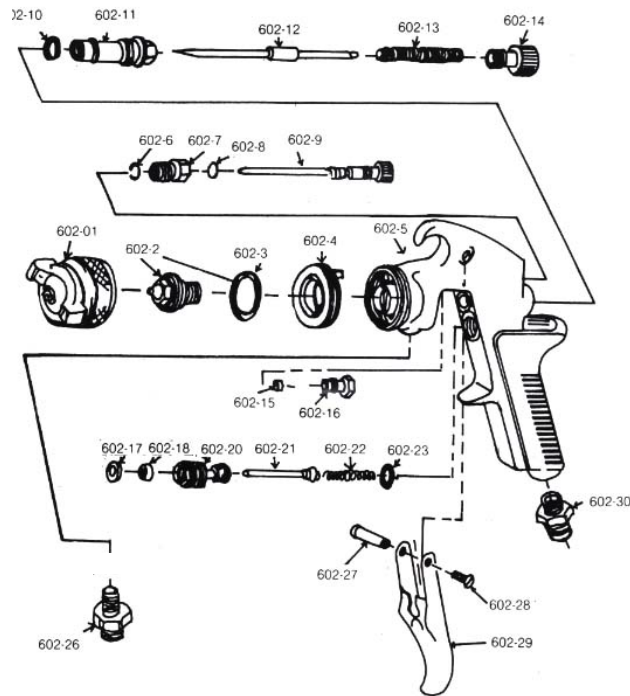
1. ノズルとニードルは精密部品です。充分に注意して取り扱ってください。
2. 5. 以外の部品交換はしないでください。仕上げに影響が出ます。
3. ノズルの清掃は、付着したペンキを取り除くため溶剤に浸してください。その後は溶剤をきれいなエアーで吹飛ばしてください。
4. ノズルの穴には、金属の棒などを突っ込まないでください。使用する場合は真鍮よりも柔らかい素材を使用してください。
5. トリガーを引く前に流量調整ニードルバルブを調整してください。

サイフォンカップを使用のとき

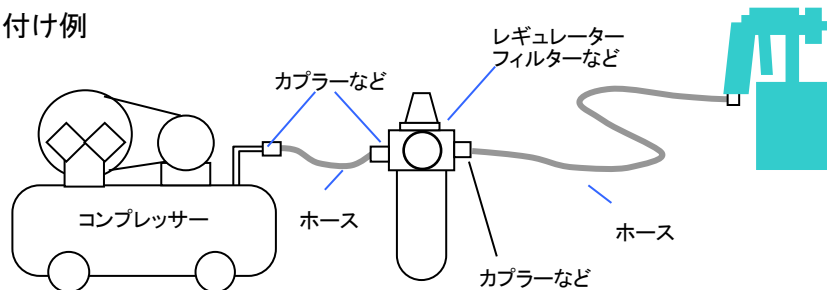
シンナーか溶剤を入れた器に、ガンのサイフォンノズルを差し込んでください。トリガーを数回引いてニードルなどを清掃します。



(参考図)



● 取付け例



- * オイルフィルターなどはエアークOMPRESSORのそばに設置しないでください。
- * エアのラインからも、排水できるようにしてください。



爆発する可能性のある環境下での使用はやめてください。

充分換気された場所でのみご使用ください。



作業中は必ず、防護メガネ、防護マスク、手袋を装着してください。

本体に限度を超える圧力をかけないでください。

絶対に人や生き物に向けて使用しないでください。



安全上の注意

事故、けがを未然に防ぐため、ご使用前に必ずお読み頂き、ご理解の上、注意事項を厳守してください。説明された用途意外の使用は厳禁です。

- ・作業場の照明は充分明るくしてください。
- ・作業場には子供を近づけないでください。
- ・無理な使い方はしないでください。作業にあったエアークOMPRESSORを使用してください。
- ・作業時は作業に適した服装をしてください。
- ・作業時には必ずゴーグルとマスクを併用してください。
- ・加工物をしっかりと固定し工具を使用してください。手で加工物を保持すると危険です。
- ・作業工具は注意深く手入れをしてください。エアークOMPRESSOR、接続部、スイッチなどは損傷していないか、その他定期的に点検してください。握り部、スイッチは常に乾かし、きれいな状態を保ってください。
- ・次の場合はスイッチを切りエアークOMPRESSORを外してください。

① 塗料を入れるとき ② 作業終了時 ③ 異常を感じたとき

- ・エアークOMPRESSORを運ぶときは、エアークOMPRESSORを外してください。不用意にスイッチが入ることがあり、危険です。
- ・エアークOMPRESSORを使用するときは、取り扱い方法、作業方法、周りの状態を把握して、慎重に作業してください。
- ・作業前には、可動部の位置、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に、異常、損傷がないか確認してください。